

「親が変われば、子どもも変わる」運動推進モデル活動

青少年育成茨城県民会議は、家庭の親に焦点を当て、平成11年度から「親が変われば、子どもも変わる」運動に取り組んでいます。

家庭の親一人ひとりが改めて自らを振り返り、子育てについての意識を新たにし、その実践を促すため、未就学児及び児童のいる家庭の親子がふれあいながら、心のきずなを深め、思いやりのある楽しい健全な家庭づくりを進める事業を実施する団体・グループを広く公募し、応募のあった団体・グループの中から5つの団体を指定してモデル活動に取り組んでいただきました。

この指定団体は、地域の多くの団体、グループ、行政機関、地域の多くの大人たちと連携、協働してモデル活動に取り組まれました。



三世交代流活動「おいしいね」(猿島地区更生保護女性会古河支部)

団体名	活動内容
青少年育成行方市民会議 (行方市)	・地域の大人や親(家族)のモラルや規範意識を高める活動と読書活動や人形劇を通して地域や家族のきずなを深める活動
青少年育成常陸大宮市民会議村石支部 (常陸大宮市)	・子どもが企画・立案・運営まで全て責任をもって実施する活動 ・保護者のための研修会 ・親子三世代がふれあい、子どもと地域住民がそれぞれ主体になって行う活動
猿島地区更生保護女性会古河支部 (古河市)	・伝統行事を通して三世交代流活動 ・手芸教室を通して親子のふれあい活動 ・紙芝居、パネルシアターを使った「青少年の喫煙防止と薬物乱用防止」啓蒙活動
筑子保育園 (筑西市)	・保育園と親子でつくる「家族の生活目標」の実践活動 ・子育て仲間づくりと地域住民との交流活動
エンゼルススポーツ幼稚園父母の会 (土浦市)	・親と子の里山遊びと親子で椎茸原木づくり活動

子どもにとってのメディアを考えるシンポジウム

テレビやビデオ、テレビゲームなどのメディアが私たちの生活の一部となっている中、子どもの健やかな成長のために、私たちができること、よりよいメディアとのつき合い方を考えるシンポジウムを、青少年育成茨城県民会議と茨城県が共催で平成19年12月1日(上)市民ホールとよさと(つくば市)で開催しました。(386人参加)

充実したシンポジウムとするために、保育所・幼稚園・小学校に関わる団体、子育て支援を行っている団体及び県関係機関等をもって構成した企画会議で内容を決定しました。

基調講演では、社団法人日本小児科医会「子どもとメディア」対策委員会委員の家島厚先生が、「メディアと子どもの育ち、親の育ち～日本小児科医会の提言とその後～」と題した講演を行いました。パネルディスカッションでは、「メディアとのよりよい関係づくりを進めるために～今、私たちに何ができるのか～」をテーマに茨城大学名誉教授の安達喜美子先生がコーディネーターとなり、幼稚園児の保護者、小学校低学年

児童の保護者、保育士及び幼稚園の教諭から、さまざまな意見発表がありました。

「子どもと向き合う時間を増やし、親子での会話、コミュニケーションを深めていきたい。」など多くの声が寄せられました。

